

校訓	真善美	令和5年度 学校だより	発行日	令和5年5月22日
教育目標	自ら考え、行動し、 未来を創造できる生徒の育成 感謝する心、確かな学力、健やかな心を育てる	「荒中だより」 5月 阜月 第6号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 山崎 佳恵

【 3年生 修学旅行 5月16日(火)～5月18日(木) 長崎、福岡へ 】

## 学年目標 Unity

～何事も <sup>な</sup>が <sup>が</sup>頑張って <sup>さ</sup>最後まで <sup>き</sup>協力する～



5月8日から新型コロナウイルスに伴う行動制限が解除されました。学年目標をみんなで達成できるよう一人ひとりが意識して行動することと、何よりも安心安全な修学旅行にすることを目指し、生徒、教師が一丸となって、修学旅行の成功を修めるために、力を合わせました。この学年は、小学校での修学旅行、入学後の林間学舎を経験できなかったもので、4年ぶりの宿泊行事となりました。入学してきた頃からマスク着用、黙食、3密の回避など、互いの命を守るために、生活の制限に縛られてきた学年です。もちろん仲間の顔も、表情もよくわからない時をともに過ごしてきました。昨年の修学旅行では、マスク着用は必須、新幹線内、バス内、食事中は会話に制限がありましたが、今年の修学旅行で一番うれしかったのは、みなさんの笑顔がたくさん見られたこと、楽しそうな会話がたくさん聞こえてきたことでした。この当たり前が幸せなことだと改めて感じ、感謝する3日間でした。この学年の素晴らしいところは、現実を受け止め、ひとりひとりが何をすべきかしっかりと考えて行動する力があることです。この力が修学旅行で存分に発揮され、成功を修めました。1日目の平和宣言。2日目の班別活動(生徒だけで9時～16時15分)。3日目の太宰府天満宮参拝と班別活動。知らない土地での長時間にわたる生徒だけの班別活動は、生徒と先生方の信頼関係の上に、成功させようとする心がひとつにならなければ成功しません。自分の力を仲間のために活かし、命に感謝し、目標達成を遂げた**3年生を誇りに思います**。この成し遂げた自信を更なる成長の糧として、勇往邁進してください。